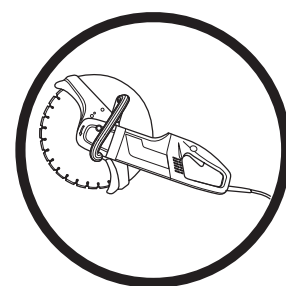


取扱説明書
K3000
K3000 Wet



Japanese

この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。

記号の説明

シンボルの説明：

警告！マシンは、正しくない使い方、いかげんな使い方をする、操作者や周囲の人に、重大な、あるいは致命的な傷害を引き起こす可能性があります。



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。



以下の装備を常に身につけてください：

- 承認されたヘルメット
- 承認されたイヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー



本製品は、適用されるEC指令に準拠しています。



警告！切断時に発生するほこりを吸い込むことにより、損傷が生じる可能性があります。認可された呼吸マスクを使用してください。いつでも、十分に換気を行ってください。



警告！切断ブレードからの火花は、たとえば次のような可燃物に火をつけることがあります。ガソリン（ガス）、木、枯草など。



警告！キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。マシンを使用する前に、マニュアルの説明をよく読み、理解してください。



環境マーク。製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示しています。電気および電子設備の再利用のため、適切なリサイクル営業所に引き渡す必要があります。



これを守ることで、本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。また、

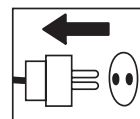


本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。

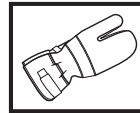
マシンに付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

取扱説明書における記号：

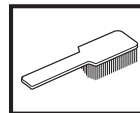
検査やメンテナンスは、モーターのスイッチを切り、またプラグの接続をはずして行います。



常に承認された保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



外観検査。



保護ゴーグルやバイザーの着用が必要です。



目次

目次

記号の説明

シンボルの説明：2

取扱説明書における記号：2

目次

目次3

各部説明

パワーカッターの各部名称 - K30004

各部説明

パワーカッターの各部名称 - K3000 Wet5

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ6

使用者の身体保護具6

安全上の指示事項

一般的な安全上の警告7

マシンの安全装置?9

切断ブレード10

一般的な作業方法12

組立て

組立て14

切断ブレードの取り付け14

ブレードのガード14

始動と停止

始動と停止15

メンテナンス

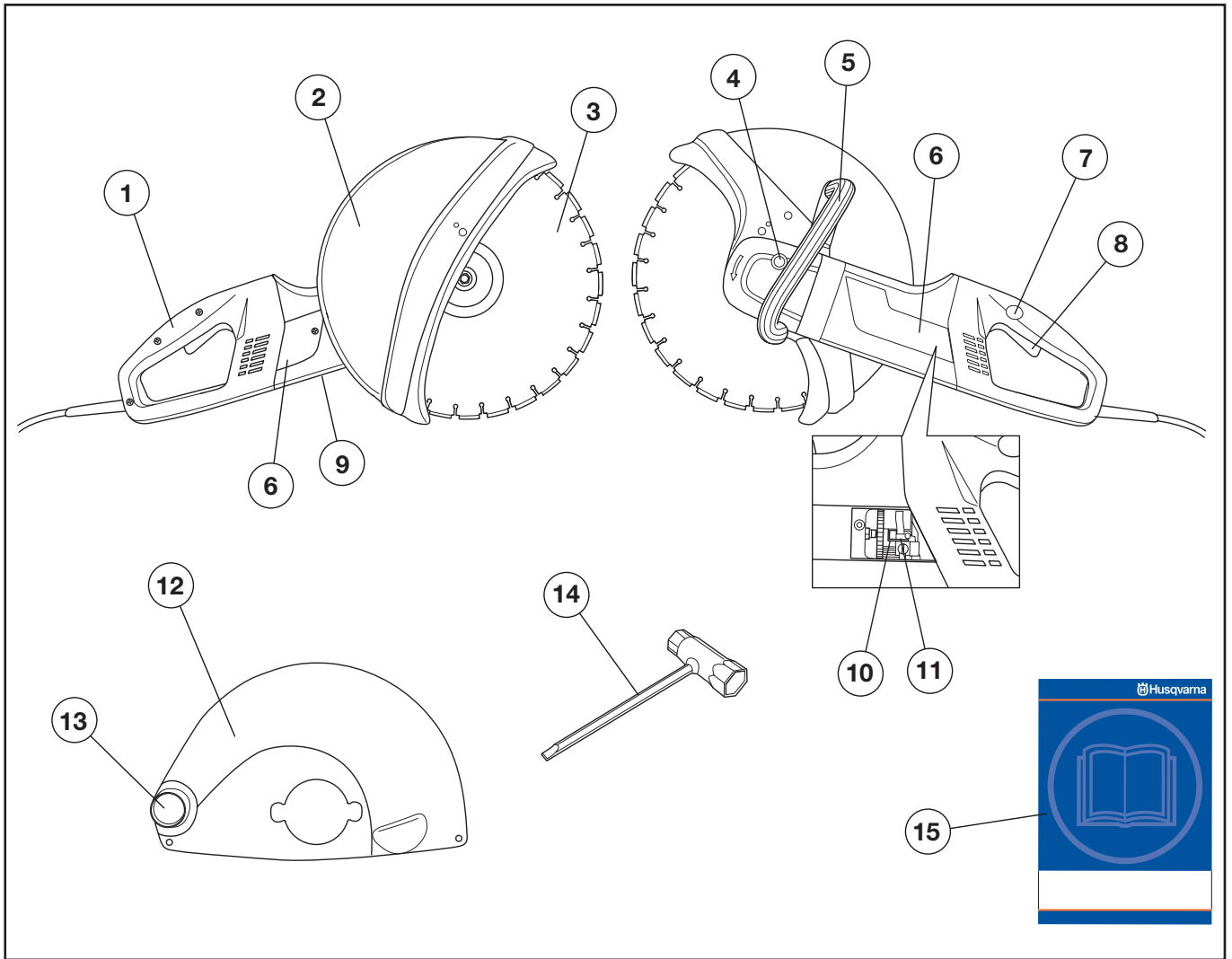
メンテナンス16

主要諸元

切断装置18

EC適合性宣言19

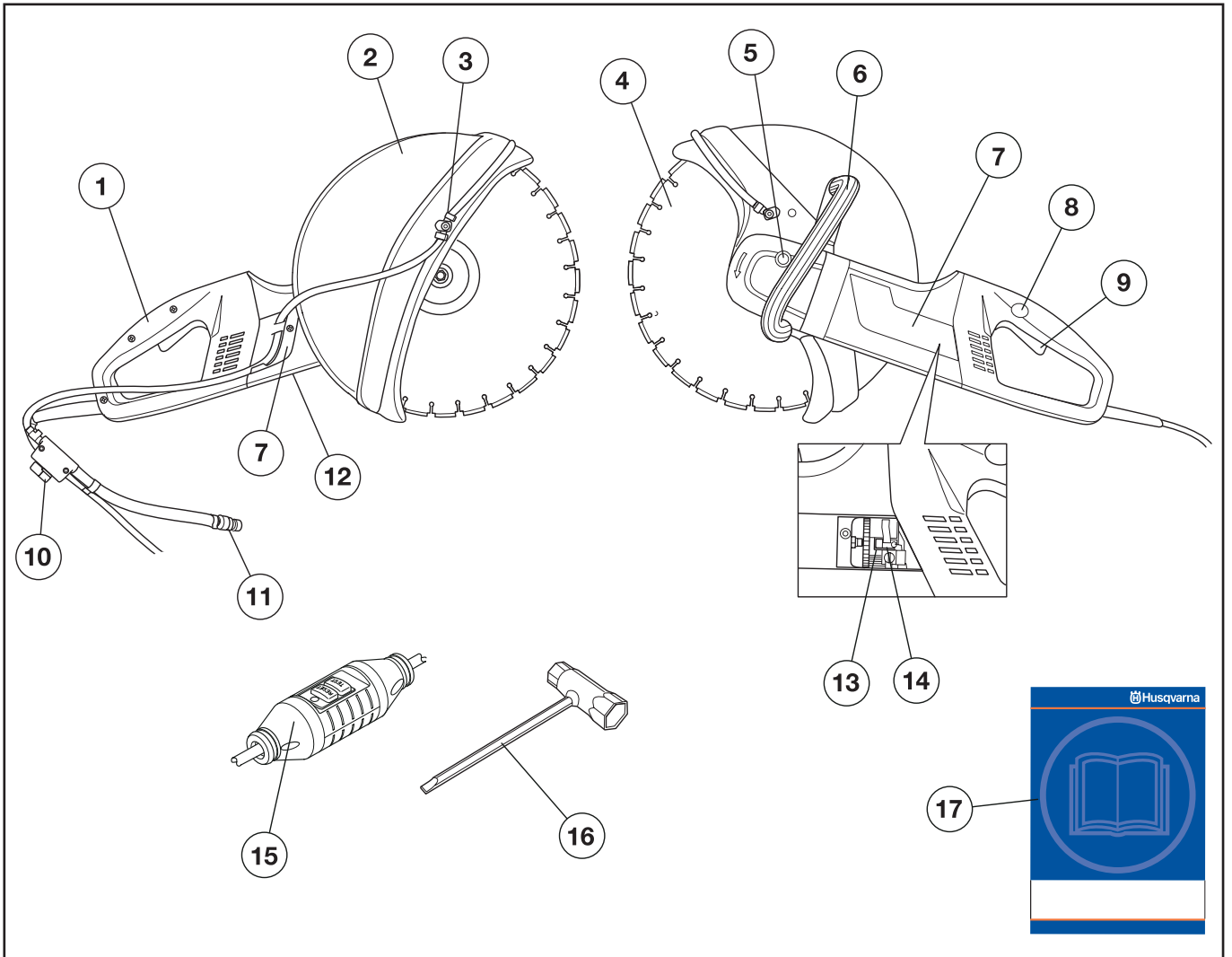
各部説明



パワーカッターの各部名称 - K3000

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1. リヤハンドル | 9. 規格プレート |
| 2. ブレードのガード 14 | 10. ブラシリテーナ |
| 3. 切断ブレード | 11. カーボンブラシ |
| 4. 軸のロック | 12. ブレードのガード12 (モデルバージョン) |
| 5. フロントハンドル | 13. 掃除機の接続部 |
| 6. 検査カバー | 14. コンビレンチ |
| 7. パワースイッチロック | 15. 取扱説明書 |
| 8. スイッチ | |

各部説明



パワーカッターの各部名称 - K3000 Wet

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. リヤハンドル | 10. 水タップ |
| 2. ブレードのガード | 11. 流量リミッターのある水接続部 |
| 3. 水キット | 12. 規格プレート |
| 4. 切断ブレード | 13. ブラシリテーナ |
| 5. 軸のロック | 14. カーボンブラシ |
| 6. フロントハンドル | 15. 設置故障回路遮断器 (GBはなし) |
| 7. 検査カバー | 16. コンビレンチ |
| 8. パワースイッチロック | 17. 取扱説明書 |
| 9. スイッチ | |

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ

- この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。
- マシンは、コンクリート、レンガ、石、鋳鉄、セメントパイプなど、硬い物質を切断することのみを目的として、設計されています。
- ハスクバーナの販売店に、定期的にパワーカッターの検査をさせ、重要な調整や修理を行わせてください。



警告！いかなる状況でも、製造者の承認を得ずに、マシンのもともとの設計を変更してはいけません。つねに、純正の交換部品を使用してください。承認のない変更および/または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。



警告！物の切断、研磨、ドリル、やすりがけ、成形を行う製品の使用は、有害な化学物質を含む、ほこりや蒸気を発生させることがあります。扱っている物質の性質を理解し、適切な防塵マスク、あるいは呼吸保護具を着用してください。



警告！不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは、継続的な製品改善を方針としています。ハスクバーナは、事前の通知なくして、製品の設計や外観を変更する権利を留保します。また、さらなる設計の変更を行う義務も負担しません。

取扱説明書のあらゆる情報とデータは、取扱説明書が印刷された時点において適用されていたものです。

使用者の身体保護具

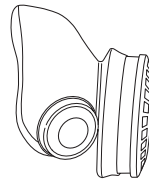


警告！マシンを使用するときは、認可のある身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、販売店にご相談ください。

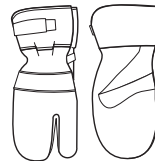
- 防護ヘルメット
- 防音マフラー
- 保護メガネまたはバイザー



- 呼吸マスク



- 重作業用のしっかりと握れる手袋



- 自由に動くことのできる、ぴったりとした、重作業用の快適な衣服。



- 切断する物について推奨される、足用の保護具を使用します。
- つま先部スチール製、滑らない靴底の靴。



- 常に救急箱を身近に備えてください。



安全上の指示事項

一般的な安全上の警告



警告！すべての安全上の警告と説明を理解してください。警告や説明に従わないと、電気ショック、火災、重大な傷害をもたらすことがあります。

今後の参照のために、すべての警告と指示を保存してください。

警告における「パワーツール」という用語は、主電源によって動作する（コードのある）パワーツール、あるいはバッテリーによって動作する（コードのない）パワーツールの意味します。

職場の安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体、ガス、ほこりが存在する場所など、爆発性雰囲気において、パワーカッターを使用しないでください。パワーツールは、火花を生じさせ、これはほこりやガスを発火させることがあります。
- 子供や周囲の人を、パワーツールの使用場所から遠ざけてください。注意散漫になると、コントロールを失うこととなります。
- 濃霧、雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が滑りやすくなるなど、危険な状態を招きます。
- 切断中は、いかなる物も崩れたり、落下したりして、傷害をもたらすことがないようにしてください。斜面での作業は特に注意してください。



警告！パワーカッターの安全距離は15メートルです。動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任が、操作者にはあります。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、始めることができます。

電気安全

- パワーツールのプラグは、コンセントと一致するものを使用します。プラグを変形させたりしないでください。接地されたパワーツールとともにアダプタープラグを使用しないでください。変形されていないプラグと、一致したコンセントは、電気ショックのリスクを減少させます。
- パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫など、接地された表面に体を接触させないでください。感電すると、電気ショックの危険が高まります。
- パワーツールは、低洗浄システムによる供給よりも多い水にさらされてはいけません。パワーツールを雨にさらしてはいけません。パワーツールに水が入ると、電気ショックの危険が高まります。
- コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張ることによって、パワーツールを運んだり、引いたり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。コードを熱、オイル、鋭い部分、移動する部品などから遠ざけず、コードが損傷したり、もつれたりすると、電気ショックの危険が高まります。
- パワーツールを野外で使用するときは、野外での使用に適した延長コードを使用します。野外使用に適したコードを使うことで、電気ショックの危険を減少させることができます。
- コードと延長コードが、損傷を受けず、良好な状態を保つようにしてください。コードが損傷している場合は、マシンを絶対に使用せず、認定修理店へ修理のために引き渡してください。
- 過熱を防ぐため、束ねられた状態で延長コードを使用しないでください。
- 延長ケーブルを使用するときは、十分な長さのある認証済みの延長ケーブルのみを使用します。詳しくは、「主要諸元」の「推奨されるケーブル寸法」を参照してください。ケーブルのサイズが小さいと、機械能力の減少や、過熱する危険があります。
- マシンは、アース線コンセントのソケットと接続するようにしてください。本線の電圧が、マシンの定格プレートに記載された電圧と一致することを確認してください。
- マシンを使用する前に、コードが自分の後ろにあり、コードが損傷することがないことを確認してください。

K 3000



警告！マシンを水で洗浄しないでください。水は、電気システムまたはエンジンに入り込み、マシンに対する損傷や、ショートを発生させることがあります。

安全上の指示事項

個人の安全

- ・ パワーツールを使用するときは、注意して、自分のしていることを確認し、常識をもって行ってください。疲れているとき、薬、アルコール、医薬品を使用しているときなどは、パワーツールを使用しないでください。パワーツールを使用するときの不注意が、重大な傷害をもたらす可能性があります。
- ・ 身体保護具を着用してください。目の保護具を着用してください。状況に応じて使用される、適切な防塵マスク、滑り止め可能な施された靴、ヘルメット、聴覚防護具は、傷害の危険を減少させます。
- ・ 意図しない始動を防いでください。電源やバッテリーパックに接続する前、ツールを持ち上げたり運んだりする前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチに触れたままパワーツールを運んだり、スイッチがオンの状態で電源がついたまま運ぶことは、事故を招きます。
- ・ パワーツールをオンにする前に、あらゆる調整キーやレンチを外してください。パワーツールの回転部分にレンチやキーが取り付けられていると、傷害を招きます。
- ・ 腕などを伸ばしすぎないでください。適切な足場とバランスを、いつも保つようにしてください。これにより、予期しない状況でもパワーツールを制御することができます。
- ・ 適切な衣服を着用してください。大き過ぎる服や、宝石などを着用してはいけません。髪の毛、衣服、手袋が、動作する部品に触れないようにしてください。大き過ぎる衣服、宝石、長い髪の毛は、動作する部品に巻き込まれることがあります。
- ・ ほこりの抜き取り、収集のため設備への接続のための装置があるときは、これらが適切に接続・使用されていることを確認してください。ほこりの収集をすることにより、ほこりに関した危険を減少させることができます。
- ・ エンジンの動作中においては、ブレードから距離を保ちます。



警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起すことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。これらの症状には、無感覚、感覚の喪失、うずき、ちくちくとした痛み、苦痛、体力の喪失、肌の色または状態の変化が含まれます。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

パワーツールの使用と注意

- ・ パワーツールに無理をさせないでください。用途に応じた、正しいパワーツールを使用してください。適切なパワーツールは、仕事をより効率的に、安全に実施することができができません。
- ・ スイッチによってオン・オフに切り替えができないときは、パワーツールを使用しないでください。スイッチで制御できないパワーツールは、危険ですので、修理の必要があります。
- ・ 何らかの調整、付属品の変更、パワーツールの保管を行うときは、電源やバッテリーパックからパワーツールのプラグを引き抜きます。こうした予防的な安全処置によって、パワーツールが突然に始動する危険を減少させます。
- ・ 使用していないパワーツールを子供の手の届くところに保管したり、パワーツールに詳しくない人や取扱説明を理解していない人にパワーツールの操作をさせないでください。訓練を受けていない操作者がパワーツールを使用することは危険です。
- ・ パワーツールのメンテナンスをしてください。移動部品のずれや接合、部品の破損、その他を確認して、パワーツールの操作に影響を与えるような状況がないか調べます。損傷のあるときは、パワーツールの使用前に修理してください。多くの事故は、パワーツールのメンテナンスが不十分であることに起因します。
- ・ 切断ツールを鋭く、清潔に保ってください。適切にメンテナンスされた、鋭い切断部分を有する切断ツールは、つかえたりするこなく、制御が容易です。
- ・ パワーツール、付属品、ツール部品などは、取扱説明書に従って使用して、作業状況や実施する作業の対象を考慮に入れてください。パワーカッターを意図されていない作業用途に使用することは、危険な状況を招きます。
- ・ 何らかの改造を受けて出荷時の仕様とは異なっているマシンは、絶対に使用しないでください。
- ・ 切断場所に、管、電気ケーブルが通っていないことを確認します。
- ・ 常に、ガス管の通っている場所を確認し、印をつけてください。ガス管の付近で切断を行うと、危険が高まります。爆発の危険があるため、切断中に火花が発生しないようにしてください。作業に集中してください。不注意により、重大な傷害や死亡を引き起こすことがあります。
- ・ 切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。

点検

- ・ 資格のある修理担当者に、パワーツールの点検をしてもらってください。また、同一の交換部品のみを使用してください。これにより、パワーツールの安全が確保されます。

安全上の指示事項

マシンの安全装置?

この項目では、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。この装置がマシンのどこに位置しているかを確認するため、「各部名称」の項目を参照してください。

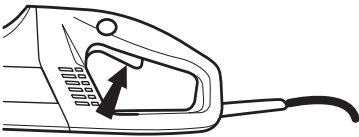


警告！ 欠陥のある安全装置を装着したマシンは決して使用しないでください。本項目に定めてある、検査、メンテナンス、点検を定期的に行ってください。

マシンに関するすべてのサービス、修理をするには、特別な研修が必須です。マシンの安全装置には、特にこのことが該当します。マシンが下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。当社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。マシンを販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。

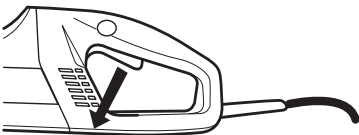
スイッチ

電源スイッチを、マシンの始動や停止に使用しないでください。



パワースイッチの検査

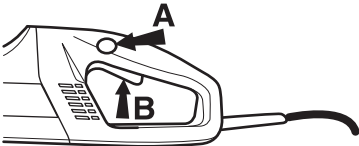
- マシンを始動させ、パワースイッチを解除し、エンジンと切断ブレードが停止していることを確認します。



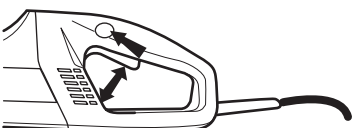
- 不良のあるパワースイッチは、承認されたサービス代理店で交換してください。

パワースイッチロック

パワースイッチロックは、スイッチの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) が押されているときは、スイッチ (B) が解除されています。

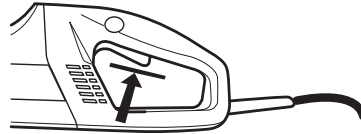


パワースイッチロックは、パワースイッチが押されている間、押された状態のままになります。ハンドルのグリップを放すと、パワースイッチとパワースイッチロックの両方がリセットされます。この動きは、2つの独立したリターンスプリングによって制御されています。この位置では、マシンが停止し、パワースイッチがロックされます。

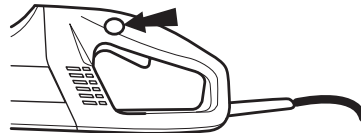


パワースイッチロックの検査

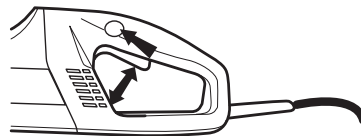
- パワースイッチロックが元の位置にあるとき、パワースイッチがロックされていることを確認します。



- パワースイッチロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- パワースイッチとパワースイッチロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。



- マシンを始動させ、パワースイッチを解除し、エンジンと切断ブレードが停止していることを確認します。

段階的な始動と過負荷の保護

マシンは、電氣的に制御された段階的始動と過負荷保護のための装置を有しています。

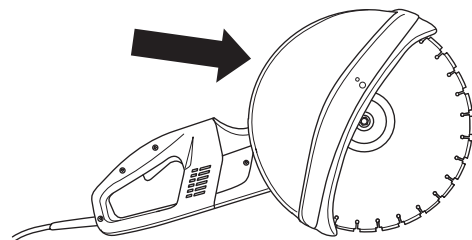
マシンが特定のレベルよりも上で負荷を受けているときは、エンジンは振動を始めます。負荷が下がると、エンジンは通常の状態に戻り、切断を再開することができます。

マシンが、エンジンを振動させた状態で動作を続ける場合、電子機器の働きによって、一定時間後、電流が切断されます。負荷が大きければ大きいほど、切断は早くなります。

ブレードがジャミングを起こした場合、電子機器の働きにより、電流は即時に切断されます。

ブレードのガード

このガードは、ブレードの上部に取り付けられ、ブレードの部品や切断において生じた破片が、操作者に飛び散ることを防ぎます。



ブレードガードの検査



警告！ マシンを始動する前はいつでも、ガードが正確に装着されていることを確認してください。切断ブレードが正しく取り付けられており、損傷が存在しないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。「組立」を参照してください。

- ガードに問題がなく、ひびや変形のないことを確認します。

安全上の指示事項

接地故障回路遮断器 (K3000 Wet)

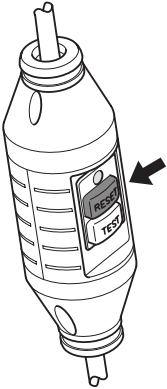
設置故障回路安全装置は、電気的故障が発生した場合の保護の役割を持っています。

設置故障回路安全装置がオンの場合、およびマシンのスイッチをオンにすることができる場合、LEDが点灯します。LEDがオンではないとき、RESET ボタン（緑）を押します。

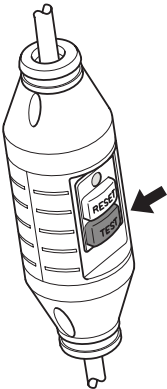


設置故障回路安全装置の検査

- マシンをソケットに接続します。RESET ボタン（緑）を押すと、赤いLEDが点灯します。



- マシンを始動させます。
- TESTボタン（青）を押します。



- 設置故障回路安全装置がトリップ状態になり、マシンのスイッチは即時にオフになります。以上のようにならないときは、代理店に問い合わせてください。
- RESET ボタン（緑）でリセットします。

切断ブレード



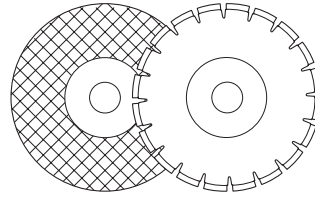
警告！切断ブレードは、破裂し、操作者に傷害をもたらすことがあります。

パワーカッターの規格よりも低い速度において切断ブレードを使用してはいけません。

意図された用途以外の物に対しては、切断ブレードを使用してはいけません。

はじめに

- 切断ブレードについては、2つの基本的な設計が提供されています。研磨ディスクと、ダイヤモンドブレードです。



- 高品質なブレードは、多くの場合、最も経済的です。低品質なブレードは、切断性能が劣っており、製品寿命も短いため、切断対象物の数量との関係では、コストが高くついてしまいます。
- マシンに取り付けられる切断ブレードには、正しいブラシが使用されるようにしてください。「切断ブレードの組立」の項目の説明を参照してください。

適切な切断ブレード

切断ブレード	K3000	K3000 Wet
研磨ディスク	はい	はい*
ダイヤモンドブレード	はい	はい
レスキューブレード	いいえ	いいえ

*水なし

様々な物質向けの切断ブレード

	コンクリート	金属	プラスチック
研磨ディスク	X	X	X
ダイヤモンドブレード	X		

手持ち型の高速度マシン

当社の切断ブレードは、高速かつ手持ち型のパワーカッターのために製造されています。他の製造者のブレードが使用される場合は、ブレードが、このタイプのパワーカッターに関するすべての規則と要件に準拠していることを確認してください。

特別ブレード

いくつかの切断ブレードは、固定型の設備用に設計されており、付属品とともに使用されることが前提とされています。このような切断ブレードは手持ち型のパワーカッターに使用してはいけません。

地域の監督庁と連絡を取り、適用される規則に従っていることを確認してください。

安全上の指示事項

ブレードの振動

フィード時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひびが生じて、振動することがあります。

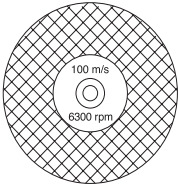
フィード時の圧力を下げることにより、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。ブレードは、切断対象物について推奨された種類を使用する必要があります。

研磨ディスク

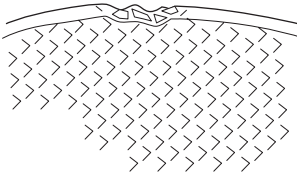
研磨ディスク上の切断素材は、有機バインダーを使用して接着された砂によって構成されています。強化ブレードは、ブレードにひびが入ったり、損傷を受けたりしたときに、最大動作速度において、全体的な損傷を防ぐための繊維あるいは繊維ベースで構成されています。

切断ブレードの性能は、研磨コーンの種類とサイズ、および、結合剤の種類と固さによって決定されます。

ブレードが、エンジンの承認プレートに従って、同じまたはより速い速度において承認を受けていることを確認します。パワーカッターの規格よりも低い速度において切断ブレードを使用してはいけません。



ブレードに、何らかのひびや損傷がないことを確認します。



指で研磨ディスクを持ち上げ、ねじまわしなどで軽くたたくことにより、研磨ディスクを検査します。ディスクが共鳴音を出さないときは、それは損傷を受けています。



様々な素材のための研磨ディスク

ディスクの種類	素材
コンクリートディスク	コンクリート、アスファルト、石、鋳鉄、アルミニウム、銅、真ちゅう、ケーブル、ゴム、プラスチックなど。
金属ディスク	鋼、合金鋼、その他の金属鉄。

警告！ 水と一緒に研磨ディスクを使用しないでください。研磨ディスクは、水に触れると、強度が下がってしまいます。

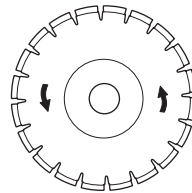
ダイヤモンドブレード

警告！ ダイヤモンドブレードでプラスチックを切断すると、切断中に発生した熱によって物質が溶け、キックバックを発生させます。また、ブレードにプラスチックが付着します。

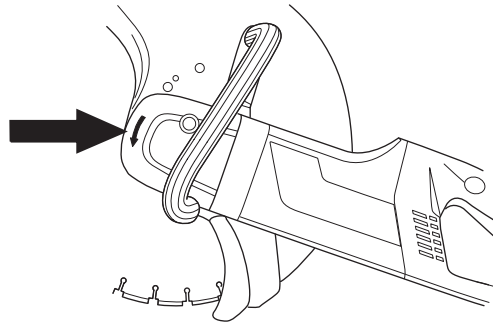
ダイヤモンドブレードは、工業ダイヤモンドを含む部分のある、鋼鉄ボディーによって構成されています。

ダイヤモンドブレードは、切断作業ごとのコストを低下させ、ブレードの交換回数も減少し、一定の切断深度を保つことができます。

ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレード上の矢印によって示された方向に回転することを確認してください。



マシンの背面に矢印があり、ディスクが取り付けられている車軸の回転方向を示しています。



いつも、鋭い状態のダイヤモンドブレードを使用してください。

素材

ダイヤモンドブレードは、石、強化コンクリート、その他の合成物質に最適です。ダイヤモンドブレードは、金属の切断には向いていません。

ダイヤモンドブレードは、様々な硬さの種類によって提供されています。「ソフト」なダイヤモンドブレードは、比較的短い使用期間を持ち、切断能力が高く設定されています。これは、花崗岩や硬化コンクリートなどの硬い物質の切断に使用されます。「ハード」なダイヤモンドブレードは、長い使用期間を持ち、切断能力が低めに設定されています。これは、レンガやアスファルトのような柔らかい物質の切断に使用されます。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

ダイヤモンドブレードは、動作時にかける圧力が間違っているときや、高度に強化されたコンクリートを切断するときには、鋭さを失います。にぶくなったダイヤモンドブレードで作業をすると、過熱を招き、これはダイヤモンドセグメントのゆるみを生じさせることがあります。

ブレードを、砂岩やレンガなどの柔らかい物質を切断することにより、研いでください。

安全上の指示事項

ダイヤモンドブレードによる乾式切断



警告！ダイヤモンドブレードは、使用した時に非常に熱くなります。熱せられたブレードは、変形し、マシンや使用者に対して被害を与えることがあります。

乾式切断を行うときは、ブレードを30から60秒ごとに切断部から持ち上げ、空気中で10秒間ほど回転させ、冷却させるようにします。

ダイヤモンドブレードによる湿式切断 (K3000 Wet)

コンクリートを切断する場合の水冷却は、ブレードを冷却させ、その寿命を長くし、またほこりの堆積を減少させます。

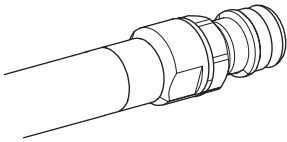


警告！ダイヤモンドブレードは、使用した時に非常に熱くなります。熱せられたブレードは、変形し、マシンや使用者に対して被害を与えることがあります。

湿式切断をするときは、過熱を防ぐためにブレードが継続的に冷却されているようにします。

流量リミッターのある水接続部 (K3000 Wet)

水圧にかかわらず、一定の流れをもたらすことを目的として、水接続部には流量リミッターがあります。流量リミッターは、解体することができません。



搬送と保管

- 切断ブレードが取り付けられた状態のパワーカッターの保管、搬送を行ってはけません。すべてのブレードは、使用後にはマシンから取り外し、適切に保管します。
- 研磨ディスクに対しては、特別な注意を払います。研磨ディスクは、平らで、水平な表面に保管する必要があります。研磨ディスクが湿気のある状態で保管されると、不均衡を発生させ、傷害の原因となります。
- 移動または保管中に損傷が発生していないか、新しいブレードを検査します。

一般的な作業方法

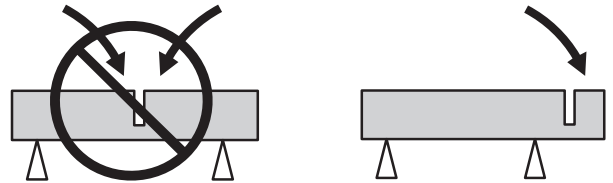


警告！このセクションでは、パワーカッターの使用に際しての基本的な安全注意事項について説明しています。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店やパワーカッター使用の経験が長い人などに相談してください。よく理解できていない状態で、作業を行わないでください！

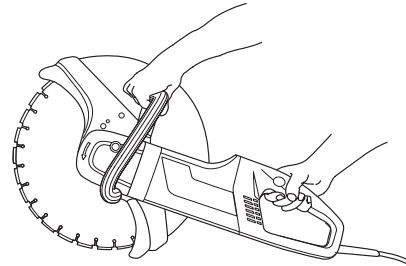
切断技術

下記に記載される技術は、一般的なものです。個別的な切断特製に関して、各ブレードの情報を確認します（例えば、ダイヤモンドブレードの要求するフィード圧力は、研磨ディスクよりも少ないものです）。

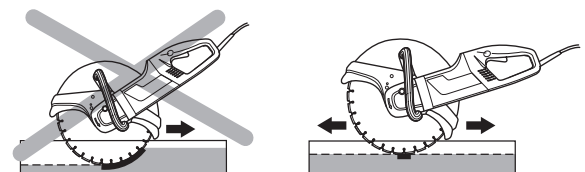
- 作業の対象を、動きの予想できるような位置で固定し、かつ、切断面が切断中によく分かるようにします。



- 切断ブレードが正しく取り付けられていることを確認します。
- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。

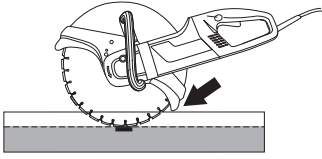


- マシンが始動したときは、ブレードが何かに接触しないようにします。
- マシンが最大速度で動作している状態で、切断を開始します。
- 切断は、スムーズに行い、マシンのブレードに力や圧力がかからないようにします。いつも、最大速度において切断してください。
- ブレードをゆっくりと前後に動かし、ブレードと切断対象の物との間の接触面が小さくなるようにします。これにより、ブレードの温度を下げ、効果的な切断を可能にします。

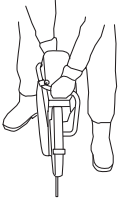


安全上の指示事項

- 切断装置のガードは、背面部が作業対象物と同一平面になるように、調整される必要があります。切断対象物からの破片や火花は、ガードによって集められ、使用者に降りかからないようにします。



- マシンを、ブレードと同じ方向に動かします。横方向からの圧力は、ブレードに損傷を与え、非常に危険です。



警告！いかなる場合でも、チェーンの横側を使用してこすったりしてはいけません。ほぼ間違いなく損傷が発生し、破損して重大な被害をもたらします。切断用の部分のみを使用してください。

パワーカッターを横に引かないでください。ブレードのジャム、破損につながり、人に對して傷害を引き起こすことがあります。

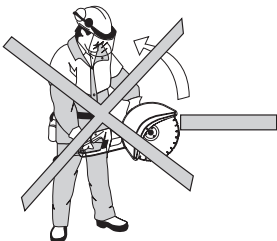
キックバックの避け方



警告！キックバックは突然激しく起こることがあります。パワーカッターがはじき返されて切断ブレードが使用者に向かってくる現象を言います。切断ブレードの動作中にキックバックが発生すると、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。キックバックが起こる理由を理解し、正しい技術を慎重な作業で発生を避けることが非常に重要です。

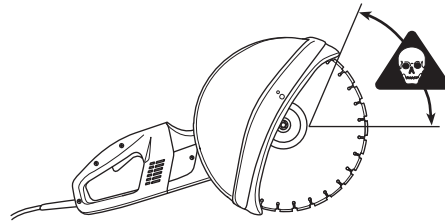
キックバックとは何か？

キックバックとは、ブレードの先端上部 1/4 のところ (キックバックゾーン) が何か他のものに接触し、パワーカッターと切断ブレードが突然激しくはじき返される現象を言います。

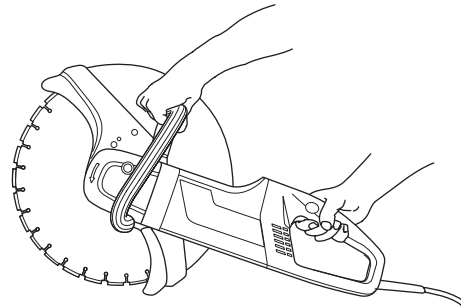


一般的な注意事項

- 図に示されている、ブレードの先端上部 1/4 のところ (キックバックゾーン) で切断を開始してはいけません。



- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。



- バランスを保ち、安定した足場を確保します。
- いつも、最大速度において切断してください。
- 作業対象の物から、安全な距離を保ちます。
- すでに切断した部分にブレードを再び挿入するときは、注意してください。
- 肩よりも高い部分の切断をしないでください。
- 作業対象物あるいはその他の物が動かないよう注意してください。切断部分が閉じられ、ブレードが挟み込まれることがあります。

引き込み

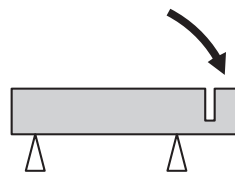
引き込みは、ディスクの下部部分が突然停止した場合や、切断部分が閉じた場合に起こります。(これを防止するためには、下記の「基本ルールおよびジャミングと回転」を参照してください。)

挟み込み/回転

切断部分に圧力がかかると、ジャミングを引き起こすことがあります。マシンが突然の力によって引き込まれる可能性があります。

挟み込みの避け方

切断動作中、および切断後に、切断部分が開かれた状態が保たれるよう、作業対象物を固定しておきます。



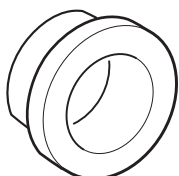
組立て



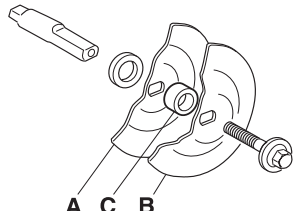
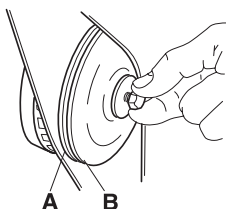
警告！ 清掃、メンテナンス、組立を行うときは、必ずプラグをソケットから抜いてください。

切断ブレードの取り付け

ハスクバーナのブレードは、手持ちのパワーカッターについて承認されています。ブレードは、3つの異なる中心口の直径を有するものが製造されています：20 mm (0.787")、22.2 mm (7/8")、25.4 mm (1") です。マシンの軸にプッシングを取り付けることができ、マシンをブレードの中心口に対して調整できます。正しい直径のプッシングを使用してください！ブレードには、中心口の直径が表示してあります。

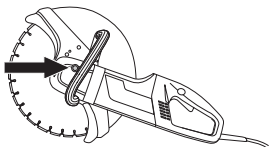


ブレードは、内部フランジウォッシャー (A) とフランジウォッシャー (B) の間のプッシング上に設置されます。フランジウォッシャーは、軸への取り付けができるように、回転されます。



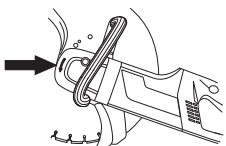
ブレードを保持するボルトの締め付けトルクは：15-25 Nm (130-215 in.lb)です。

切断ブレード/車軸は、マシンの背面部のロックボタンを押さえることによってロックすることができます。ボタンは、スプリングが取り付けられており、ボタンが放されたときにリセットされます。



ダイヤモンドブレードがパワーカッターに取り付けられているときは、ダイヤモンドブレードがブレード上の矢印によって示されている方向に回転することを確認します。

本機には矢印があり、ディスクが取り付けられている車軸の回転方向を示しています。



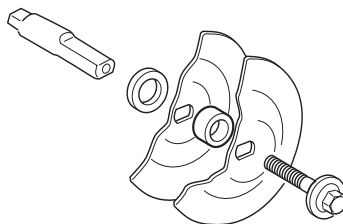
ブレードが新しいものと交換されたとき、フランジウォッシャーとドライブ車軸を確認します。「ドライブ車軸とフランジウォッシャーの検査」の項目の説明を参照してください。

ドライブ車軸とフランジウォッシャーの検査

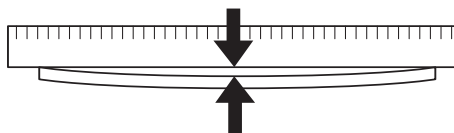


ドライブシャフト上のスレッドに損傷がないか確認します。

ブレードの接触面と、フランジウォッシャーに損傷がないこと、正確な寸法であること、ドライブ車軸上で適切に動作することを確認します。



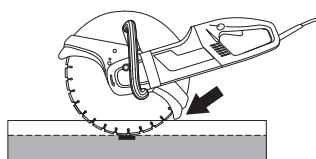
曲ったり、切れ込みがあったり、ギザギザが生じたり、汚れたりしたフランジウォッシャーは使用しないでください。異なる寸法のフランジウォッシャーは使用しないでください。



ブレードのガード

ガードが、マシンにいつも取り付けられている必要があります。

切断装置のガードは、背面部が作業対象物と同一平面になるように、調整される必要があります。切断対象物からの破片や火花は、ガードによって集められ、使用者に降りかからないようにします。



始動と停止

始動前



警告！始動時には以下の注意点を守ってください：

マシンは、アース線コンセントのソケットと接続するようにしてください。

本線の電圧が、マシンの定格プレートに記載された電圧と一致することを確認してください。

足場が良いことと切断ブレードが他の物に接触しないことを確認してください。

作業場所に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。

K3000 Wet

水コネクター

水ホースを水供給部分 (A) に接続します。水の流れは、水タップ (B) を使用して調整できます。

設置故障回路安全装置



警告！ツールは、必ず提供された接地故障回路遮断器と一緒に使用してください。不注意によって、重傷や死亡事故が起きる可能性があります。

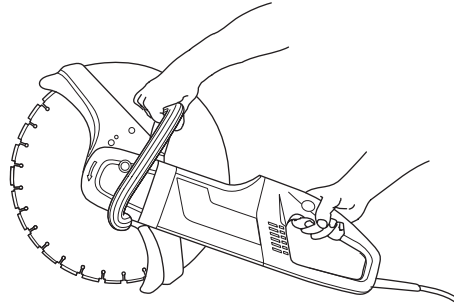
設置故障回路安全装置のスイッチがオンになっていることを確認します。設置故障回路安全装置がオンの場合、およびマシンのスイッチをオンにすることができる場合、LEDが点灯します。LEDがオンではないとき、RESET ボタン (緑) を押します。



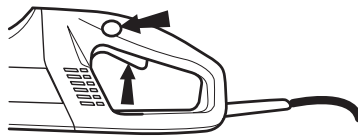
設置故障回路安全装置の検査。詳細は、「マシンの安全装置の検査・メンテナンス・点検」を参照してください。

始動

- 左手でフロントハンドルを握ります。
- 右手でリアハンドルを握ります。



- 右手の親指でパワースイッチロックを押し、パワースイッチを押します。



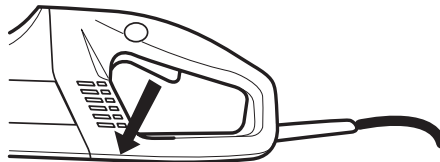
- 無負荷の状態でもマシンを動作させ、安全な状態で最低30秒運転させます。

停止



警告！モーターが停止した後、切断ブレードはしばらくの間、回転を続けます。

パワースイッチを放して、モーターを停止させます。



メンテナンス

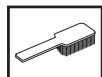
はじめに



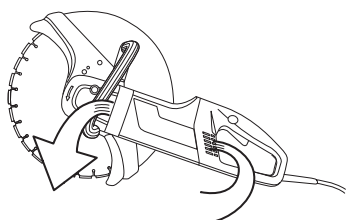
警告！検査やメンテナンスは、モーターのスイッチを切り、またプラグの接続をはずして行います。

清掃

冷却システム



マシンには、モーターを冷却するための効率ファンが装備されています。マシンのリアハンドルによってグリルから引きこまれた冷却用空気は、ステーターとローターに流れ込み、モーターハウジングの前面から排出されます。



マシンがいつも十分に冷却されているためには、冷却用空気用口が清潔できれいな状態である必要があります。圧縮空気により、定期的にマシンの汚れを吹き落としてください。

K3000



警告！K3000 は接地故障回路遮断器を装備していません。マシンを水で洗浄しないでください。水は、電気システムまたはエンジンに入り込み、マシンに対する損傷や、ショートを発生させることがあります。

K3000 Wet



警告！本機の内部を洗浄するときは、高圧水を使用しないでください。

本機は切断中に発生する湿り気のある空気や水しぶきの浸入に耐えることができます。きれいな水であれば、本機の機能に影響を与えることはありません。

コンクリートやれんがなど、塩分を含む物質を切断するとき、作業の終了後に本機を洗浄する必要があります。洗浄をすると、エンジン内の付着物の蓄積を防ぎます。付着物が蓄積すると、電子部品間の漏れ電流を発生させ、接地故障回路遮断器が不意にオフになることがあります。

- 作業の終了時にはいつも、本機をきれいな水で洗浄してください。
- リアハンドルを上方に向けるように置きます。きれいな水でリアハンドルの吸気口を洗浄します。前面の排気口から水が流れていきます。
- エンジンの乾燥を早めるため、プラグを接続し、30秒間ほどエンジンを運転させます。

電氣的フィード



警告！損傷のあるケーブルを使用しないでください。重大な、あるいは致命的な傷害をもたらすことがあります。

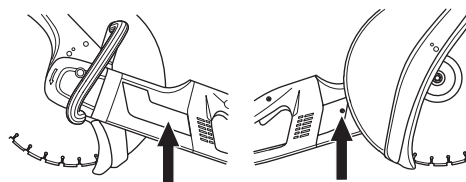
コードと延長コードが、損傷を受けず、良好な状態を保つようにしてください。コードが損傷している場合は、マシンを絶対に使用せず、認定修理店へ修理のために引き渡してください。

カーボンブラシの交換

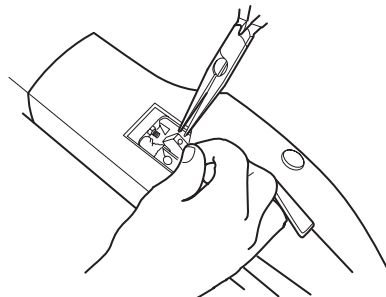
少なくとも1か月に1回はカーボンブラシを検査してください。カーボンブラシは、損耗、ひび割れ、その他の変形があるときには、新しいブラシと交換される必要があります。

カーボンブラシの交換の場合は、すべてのカーボンブラシを交換します。

- 両方のねじをゆるめ、両方の検査カバーを外します。



- カーボンブラシを保持しているケーブルのねじを外します。スプリングを持ち上げ、カーボンブラシをブラシリテーナから取り出します。



- 乾いたブラシで、ブラシリテーナを清掃します。
- ほこりを注意深く吹き払います。
- 新しいカーボンブラシを取り付け、同時に、ブラシリテーナの内部で容易にスライドすることを確認します。
- スプリングを折りたたみ、ケーブルを引き締めます。
- 新しいカーボンブラシは、アイドルリング中に約40分のならし運転をする必要があります。

かさ歯車

ギアハウジングのグリースは、4か月に1回交換する必要があります。高品質なギアグリースを使用してください。

ギアハウジングを、すべてグリースで満たさないでください。グリースは、マシンの動作中に熱を持つことで、広がっていきます。ギアハウジングがグリースで完全に満たされていると、密閉部分を損傷させ、グリースの漏れが発生することがあります。

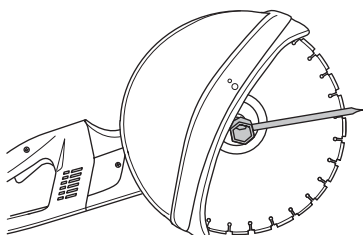
ギアハウジングは、合計90gのグリースを含んでいる必要があります。

メンテナンス

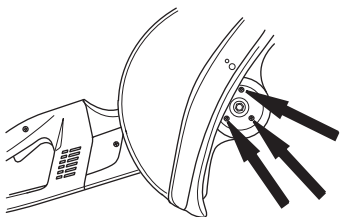
グリースの交換

以下の部品は、ギアハウジングのグリースを交換するために分解する必要があります。

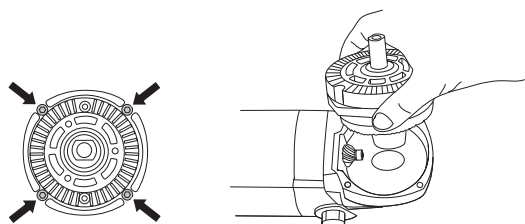
1. 切断ブレードを保持するフランジウォッシャー



2. シーリングリング
3. ガードのサポートフランジ



4. ブレードのガード
5. シールドを保持する4つのねじ。ギアハウジングの外部へ、ドライブホイールユニットとともにシールドを持ち上げます。

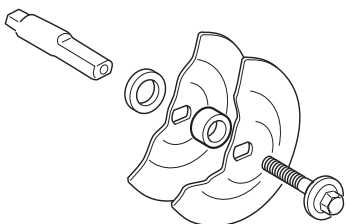


6. グリースをふき取り、新しい、かつ品質の高いギアグリースを入れます。ギアハウジングは、合計90gのグリースを含んでいる必要があります。

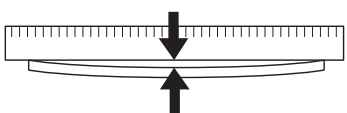
注意！ 解体中は、ガスケットを損傷させないように、注意を払います。これらは、ギア設定のシールおよびスペーサとして使用されます。

ドライブ車軸とフランジウォッシャーの検査

ドライブシャフト上のスレッドに損傷がないか確認します。ブレードの接触面と、フランジウォッシャーに損傷がないこと、正確な寸法であること、ドライブ車軸上で適切に動作することを確認します。



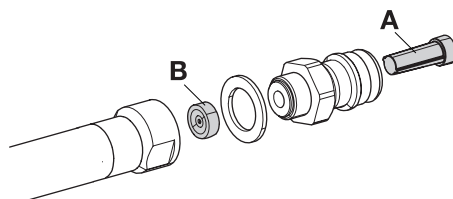
曲ったり、切れ込みがあったり、ギザギザが生じたり、汚れたりしたフランジウォッシャーは使用しないでください。異なる寸法のフランジウォッシャーは使用しないでください。



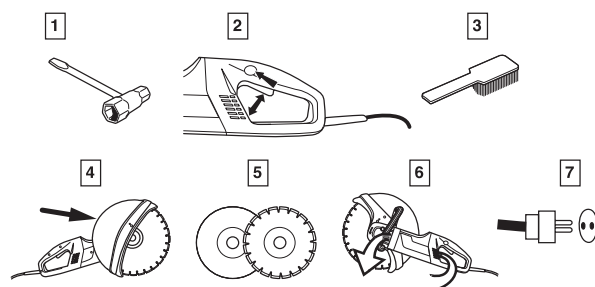
流量リミッターのある水接続部の確認

定期的に接続部のフィルターを検査および清掃し、必要であれば交換します。

1. コネクターのねじを外します。
2. ねじ回しなどを使用して、フィルター（A）を押します。
3. フィルターを清掃し、交換します。
4. 再度取り付ける場合は、流量リミッター（B）が正しく調整され、クラッチ接続部に対して凹面が向いているようにします。



日々のメンテナンス



1. ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。
2. パワースイッチユニットがスムーズに動作することを確認します。
3. チェンソーの外側を清掃します。
4. ブレードガードの検査
5. 切断ブレードの状態を検査します。
6. 冷却用空気口の検査と清掃を行います。
7. コードと延長コードが、損傷を受けず、良好な状態を保つようにしてください。

主要諸元

主要諸元	K3000	K3000 Wet
エンジン		
保護クラス	I	I
設置故障回路安全装置	いいえ	はい
定格電圧、V		
ヨーロッパ	230	230
イギリス	110	110
アメリカ/カナダ/日本	100-120	100-120
オーストラリア	230	230
定格出力、W		
ヨーロッパ	2700/12 A	2700/12 A
イギリス	2200/20 A	2200/20 A
アメリカ/カナダ/日本	15 A, 50-60 Hz	15 A, 50-60 Hz
オーストラリア	2300/10 A	2300/10 A
重量		
ブレードとケーブルを除いたマシン重量	8,8	8,9
音レベル		
使用者の耳に対する騒音圧レベル、最大速度、EN ISO 11201に従って計測、dB (A)	95	95
雑音レベル、最大速度、EN ISO 3744, dB (A)に従って計測	108	108
振動レベル		
(注意1を参照)		
フロントハンドル, m/s ²	1,7	1,7
リアハンドル, m/s ²	3,8	3,8
水冷却		
ブレードの水冷却	いいえ	はい
接続ニップル	タイプ・ガーディナ	タイプ・ガーディナ
水圧 - 最大、バール	-	8

注意 1： ISO 8662-4に従って計測されたハンドルの振動

切断装置

切断ブレード, mm/インチ	最大周辺速度, m/s
300/12	80
350/14	100

最大ブレード速度, rpm

4500

推奨されるケーブル寸法

ケーブル領域	1.5 mm ²	2.5 mm ²
入力電圧 100-120 V	20 m	40 m
入力電圧 220-240 V	30 m	50 m



主要諸元

EC適合性宣言

(欧州のみ適用)

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツ, SE-433 81 Göteborg, Sweden, 電話: +46-31-949000, は、その自らの責任において、パワーカッター **Husqvarna K3000, K3000 Wet** が、2008年のシリアルナンバー以降から（年度は、連続したシリアルナンバーとともに、定格プレートに簡潔な文字で明示されています）、委員会の指令に定める要件に従っていることを宣言します：

機械に関する、1998年6月22日の **98/37/EC**, 別紙 IIA。

電磁的な互換性に関する、2004年12月15日の **2004/108/EC**。

電磁的な互換性に関する、2004年12月15日の **2006/95/EC**。

以下の基準が適用されています： EN ISO 12100-2, EN 60745-1, EN 60745-2-3, EN 55014-1, EN 55014-2, EN 61000-3-2, EN 61000-3-3.

提供されたパワーカッターは、ECタイプ審査を受けたサンプルに準拠しています。

Göteborg, 2008年5月5日



Ove Donnerdal, 開発マネージャー

1152450-79



2009-05-15